

日本ベートーヴェンクライス レクチャー・コンサート

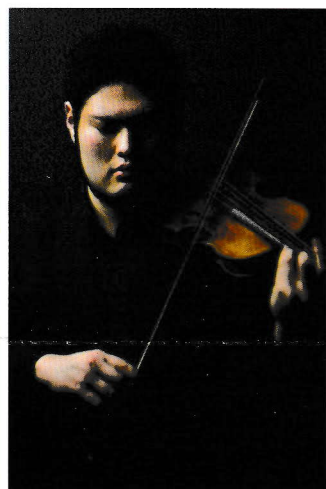
若きベートーヴェンとチェリストたちの挑戦 ～ チェロ・ソナタにおける伝統と革新



島根朋史 (チェロ)



川口成彦 (フォルテピアノ)



丸山 韶 (ヴィオラ、ヴァイオリン)



山根風仁 (チェロ)

2019 年 3 月 25 日(月)18 時 30 分開演 近江楽堂 (100 席)

(京王新線「初台駅」下車徒歩3分 東京オペラシティ3階)

お話し: 土田英三郎 (日本ベートーヴェンクライス 副代表)

島根朋史 (チェリスト)

— ピリオド楽器によるプログラム —

L. v. ベートーヴェン : チェロとピアノのためのソナタ ヘ長調 Op.5-1 (1796 年作曲)

B. H. ロンベルク : ニ台のチェロとヴィオラのための三重奏曲 変ロ長調 Op.38-3 (1798 年頃)

J. L. デュポール : チェロと通奏低音のためのソナタ ニ長調 Op.3-1 (1773 年出版)

A. クラフト : チェロと通奏低音のためのソナタ ニ長調 Op.1-3 (1780 年代作曲)

★使用フォルテピアノ : Anton WALTER モデル (1800 年頃) / 製作者 PAUL McNULTY (チェコ) 2002 年作

全自由席 5,000 円 (日本ベートーヴェンクライス会員は 2,500 円)

主催 : 日本ベートーヴェンクライス

チケット取扱い : 東京オペラシティチケットセンター 03-5353-9999

コンサートマネジメント : ミリオンコンサート協会 03-3501-5638

日本ベートーヴェンクライス

代表理事 : 野平一郎 [東京藝術大学教授・ピアニスト・作曲家]

副代表 : 土田英三郎 [東京藝術大学教授・音楽学] 平野 昭 [元慶應義塾大学教授・音楽学]

公式HP <https://sites.google.com/view/beethovenkreis/>

ベートーヴェンに興味のある方、日本ベートーヴェンクライスへのご入会お申込を随時受付けております。

年会費 : ¥10,000

事務局 : ミリオンコンサート協会内 TEL 03-3501-5638 / FAX 03-3501-5620

チェロ音楽の歴史で節目となる作品の一つが、ベートーヴェンの作品5です(1796年に旅先のベルリンで作曲)。チェロと鍵盤という二つの楽器が対等に扱われたソナタとして、作品5はほとんど最初のものです。ただ、この革新的な作品はベートーヴェンの力だけで成立したわけではありません。当時、多くのチェリスト・作曲家が、この楽器の新しい奏法を開発しようとしていました。ベートーヴェンと親交のあったチェリストの何人かもそこに含まれます。そもそもベルリンでベートーヴェンにチェロの奏法・作曲法を教授したジャン＝ルイ・デュポール、ベートーヴェンとはボンの宮廷楽団以来のつきあいだったベルンハルト・ロンベルク、ハイドンが長く楽長を務めたエステルハーゼ侯爵宮廷楽団で首席だったアントーン・クラフト(やがてウィーンで、息子のニーコラウスとともに、ロプコヴィツ侯爵家宮廷楽団、さらにはシュパンツィヒ弦楽四重奏団のメンバーとして活躍)、といった人たちです。

この演奏会では、ベートーヴェンとこれら友人チェリストたちによる「挑戦」の一端を、肩の凝らないトークを交えながら、歴史的楽器で紹介します。作品5以外はめったに聴けないレパートリーなので、とても貴重な機会となることでしょう。

演奏は、東京藝術大学の博士課程でチェロの奏法史を研究している島根朋史さんとその仲間たち、すなわち2018年のショパン・コンクール古楽部門入賞の川口成彦さん、ソリスト、また古楽とモダンのオーケストラで活躍している丸山韶さん、学生時代最後を迎える新進気鋭の山根風仁さん、というメンバーによります。

島根朋史 (チェロ) Tomofumi SHIMANE (Cello)

ガット弦、時代別の楽弓を使用するチェロ奏者、ヴィオラ・ダ・ガンバ奏者。

附属高校を経て東京藝術大学、同大学院修士課程、パリ7区エリック・サティ音楽院修了。現在、東京藝術大学博士課程に在籍。藝大校内にて同声会賞、大学院アカンサス音楽賞を受賞。フランス歴史博物館、東京文化会館でソロリサイタルを開催。NHK「ららら♪クラシック」にて古楽演奏についての解説者を務めている。チェロを P. ミュレール、X. ガニユパン、河野文昭、バロックチェロを A. ビルスマ、E. バルサ、鈴木秀美、ヴィオラ・ダ・ガンバを C. プリュボウ、福沢宏の各氏に師事。古楽オーケストラ La Musica Collana 首席奏者。オーケストラ・リベラ・クラシカ、古楽アンサンブル・コントラポント、弦楽アンサンブル TGS、Trio Ace メンバー。日本弦楽指導者協会 正会員。

川口成彦 (フォルテピアノ) Naruhiko KAWAGUCHI (Fortepiano)

第1回ショパン国際ピリオド楽器コンクール第2位、ブルージュ国際古楽コンクール最高位。第3回ローマ・フォルテピアノ国際コンクール審査員。フィレンツェ五月音楽祭はじめ欧州の音楽祭に出演を重ねる。協奏曲では18世紀オーケストラなどと共演。ロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団メンバーと室内楽の共演も重ねる。france musique (フランス) 等、欧州のラジオにも多数出演。録音はシューベルト『さすらい人幻想曲&即興曲集』(Fuga Libera、レコード芸術特選盤)、バルトーク『2台のピアノと打楽器のためのソナタ』(MUSIS)など。東京藝術大学大学院およびアムステルダム音楽院の古楽科修士課程を首席修了。アムステルダム在住。

丸山 韶 (ヴィオラ、ヴァイオリン) Sho MARUYAMA (Viola, Violin)

京都市立芸術大学を首席で卒業。京都市長賞、京都音楽協会賞受賞。東京藝術大学別科古楽科修了。日本センチュリー交響楽団とソリストとして共演。NHK「ららら♪クラシック」に出演し、A. ヴィヴァルディ作曲「冬」のソリストを務め全国放送された。バッハ・コレギウム・ジャパン、古楽アンサンブル・コントラポント、レ・ボレアードなどの国内主要古楽団体のメンバーとして活躍。リクレーアツィオン・ダルカディアの公演にゲストメンバーとして出演。コントラポントの公演ではコンサートマスターや、ソリストを務める。古楽オーケストラ La Musica Collana、Ensemble LMC リーダー。Trio Ace ヴァイオリン奏者。2018年8月、ソロCDアルバム『Con affetto』を299MUSICよりリリース。

山根風仁 (チェロ) Futo YAMANE (Cello)

高知県生まれ。チェロを10歳で始める。土佐高校を卒業。現在、東京藝術大学音楽学部器楽科4年在学中。

第22回日本クラシック音楽コンクール弦楽器部門第1位。第68回全日本学生音楽コンクール高校の部第2位。第12回ビバホールチェロコンクールにて井上賞(特別賞)受賞。ルーマニア国際音楽コンクールアンサンブル部門第2位ほか、受賞多数。東京藝術大学学内にて安宅賞を受賞。東京藝術大学バッハカンタータクラブに在籍。2018年度より、同団の演奏委員長に就任、バッハの宗教作品に指揮者として取り組む。ソロ、室内楽のほか、古楽器の演奏や新曲の初演など、幅広い活動に取り組んでいる。ワーナー・クラシック・ジャパン『藝大レーベル』より、音源が配信中。

これまでにチェロを上塚幸代、上塚憲一、河野文昭、鈴木秀美の各氏に師事。